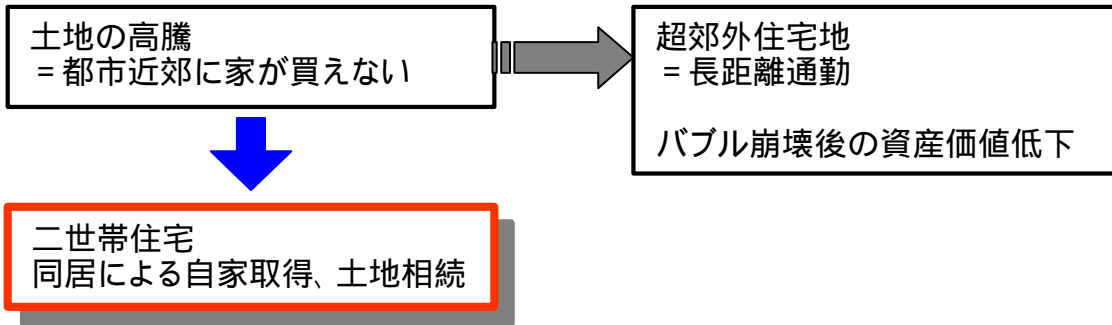


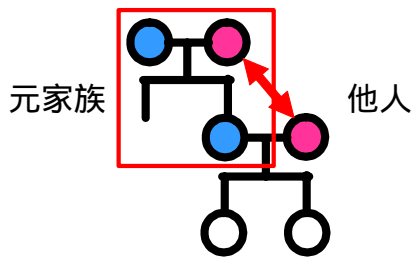
二世帯住宅が普及した時代(バブル期以降)



2つの家族がどう住むか、同居のためのノウハウ提案(DUO・DUET/1987)

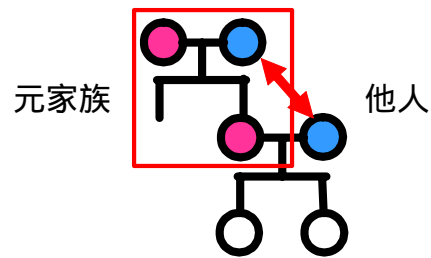
息子夫婦同居二世帯「DUO」

オモテ融合、家事分離  
他人同士の姑、嫁の価値観の違いに配慮



娘夫婦同居二世帯「DUET」

オモテ分離、家事融合  
他人の若主人の世間体に配慮



親世帯 高齢者がどう住むか、高齢者配慮住宅(AICS/1993)

長寿社会対応標準化  
「高齢化は全ての人に訪れる」との考え方から、手摺設置(準備)、床段差解消を全ての住宅に

「ロングライフ住宅」を基本戦略に(1998)

安心に  
快適に  
自由に  
大切に

耐久性、構造強度  
健康、環境配慮、断熱性  
可変性、一体大空間  
メンテナンス、資産価値

息子夫婦同居と娘夫婦同居の違いを考慮した基本的な間取りづくりのポイント

	対社会コミュニケーション	家庭内コミュニケーション	個人生活
	対外的に我が家をどのように示すか、二つの独立した世帯が生活していることを示す工夫が必要	核家族単位の団らん、両世帯のふれあい、日常の家事行為など、家庭内の交流に留意する	家族とのふれあいと、一人で過ごすひと時への配慮。とくに家族に新しく加わる人がくつろげるスペースを確保する
DUO 息子夫婦同居 「オモテ融合・家事分離」	<p>玄関の近接や、メイン玄関の共用など、同じ名字を継ぐ一つの家としてのまとまりを大切にす。</p> <p>接客スペースや親世帯を通らない動線を確保し、子世帯主婦の友人が訪れやすい環境を作る。</p> <p>外階段で出入りする勝手口など、子世帯主婦が気兼ねなく外出できる間取りと外出動線に配慮する。</p>	<p>単世帯だけで団らんが楽しめるスペースと、両世帯の奥さまが日中気兼ねなく過ごせるスペースに配慮する。</p> <p>必要に応じて世帯間の行き来ができるような防火扉などを玄関ホールに設け、選択的にふれあいが楽しめる工夫をする。</p> <p>家事空間を独立させ、マイペースで家事ができる配慮をする。</p>	<p>子世帯主婦が好きな時に一人になれるよう、独立した家事空間を確保する。</p> <p>洗面や入浴など基本的な生活行為が、相手世帯を気遣わずにできる配慮をする。</p>
DUET 娘夫婦同居 「オモテ分離・家事融合」	<p>表札を別々にしたり、専用の玄関やアプローチを設け、子世帯主人の独立性を社会的に強調する。</p> <p>親世帯を通らない動線を確保し、子世帯主人が気兼ねなく来客を迎えられるスペースを作る。</p> <p>実の母親のため気兼ねなく外出できるか、相手世帯の生活スペースを通らずに外出できる動線を確保する。</p>	<p>子世帯主人の在宅時に各世帯が独立を保てる工夫をし、子世帯主人のくつろぎの場も確保する。</p> <p>昼間母親が行き来しやすいよう、家事ゾーンに防火扉を設けるなどの動線計画を立てる。</p> <p>共用のユーティリティで家事協力がスムーズにできる工夫をする。</p>	<p>出勤時間が重なる両世帯主人に効率的な洗面スペースや、帰宅が遅くても相手世帯に気兼ねなく入浴できる専用浴室などを確保する。</p> <p>書斎や独立したLDKなどを設け、子世帯主人が帰宅後や休日に気兼ねなく一人でくつろげるスペースを考える。</p>